

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年11月12日(2015.11.12)

【公表番号】特表2014-533462(P2014-533462A)

【公表日】平成26年12月11日(2014.12.11)

【年通号数】公開・登録公報2014-068

【出願番号】特願2014-538917(P2014-538917)

【国際特許分類】

H 04 L 12/917 (2013.01)

H 04 M 3/00 (2006.01)

H 04 L 12/801 (2013.01)

H 04 L 12/70 (2013.01)

【F I】

H 04 L 12/917

H 04 M 3/00 D

H 04 L 12/801

H 04 L 12/70 D

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年9月25日(2015.9.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

サービスの特定のリソースの要求の履歴の傾向および現在のリソースの利用傾向および要求に基づいて、見積もられるリソースの要求を決定し、

種々のネットワークリソースからサービス構成要素の通信伝達部のためのリソースを得て、

前記サービス構成要素の前記通信伝達部によって、仮想私設ネットワークリンクからの指示を介して、前記サービス構成要素の媒体部分からリソースの割り当てを制御し、

前記種々のネットワークリソースから前記サービス構成要素の媒体部分のためのリソースロックを獲得し、ここで、前記リソースロックは共用プールへ統合され、前記サービス構成要素の前記通信伝達部が共通に利用可能である態様で提供され、

継続時間中、アプリケーションおよびサービスに前記リソースロックを利用し、

前記アプリケーションおよびサービスの使用後、前記リソースを開放する方法。

【請求項2】

前記サービス構成要素は、分散され、統合されていない請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記仮想私設ネットワークリンクは、標準化されたプロファイルにより公開されているプロトコルを駆動させる、請求項1または請求項2に記載の方法。

【請求項4】

リソースロックは、公開されているアプリケーションおよびリソースプログラミングインターフェースを介して、公用、私設または公共ネットワークを通じて入手される請求項1~3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

種々のネットワークリソースから入手されたリソースロックを含む、サービス構成要

素の通信伝達部と、

前記種々のネットワークリソースから入手されたリソースブロックを含む、前記サービス構成要素の媒体部分と、

を有し、

前記リソースブロックは、共用プールに統合されており、前記サービス構成要素の前記通信伝達部が共通に利用可能である態様で提供されているものであって、

前記サービス構成要素の前記通信伝達部はさらに仮想私設ネットワーククリンクからの指示を介してサービス構成要素の媒体部分からリソースの割り振りを制御するように構成されており、

アプリケーションおよびサービスのための前記リソースブロックは、継続時間中、使用され、使用後にはリソースを開放するように設計され、

見積もられるリソースの要求がサービスの特定のリソースの要求の履歴の傾向および現在のリソースの利用傾向および要求に基づいて決定される機器。

【請求項 6】

前記サービス構成要素は、分散され、統合されていない請求項 5 に記載の機器。

【請求項 7】

前記仮想私設ネットワーククリンクは、標準化されたプロファイルを用いて、公開されているプロトコルを実行する請求項 5 または請求項 6 に記載の機器。

【請求項 8】

公開されているアプリケーションおよびリソースプログラミングインターフェースを通じて、公用、私設、若しくは、公共ネットワークから前記リソースブロックを調達する請求項 5 ~ 7 のいずれか一項に記載の機器。

【請求項 9】

サービスの特定のリソースの要求の履歴の傾向および現在のリソースの利用傾向および要求に基づいて、見積もられるリソースの要求を決定する手段と、

種々のネットワークリソースからサービス構成要素の通信伝達部のためのリソースブロックを獲得する手段と、

前記サービス構成要素の媒体部分からリソースの割り当てを制御する手段と、

種々のネットワークリソースからサービス構成要素の媒体部分のためのリソースブロックを獲得する手段と、前記リソースブロックは共用プールに統合され、サービス構成要素の通信伝達部が共通に利用可能である態様で提供されるものであって、

特定の継続時間にアプリケーションおよびサービスを実行するためにリソースブロックを使用する手段と、

を有するシステム。

【請求項 10】

前記サービス構成要素は分散されており、統合されていない、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 11】

前記リソースの割り当てを制御する手段は、仮想私設ネットワーククリンクからの指示を介して、前記リソースの割り当てを制御し、

前記仮想私設ネットワーククリンクは、標準化されたプロファイルを用いて、公開されているプロトコルを実行する請求項 9 または請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 12】

公開されているアプリケーションおよびリソースプログラミングインターフェースを通じて、公用、私設、または、公共ネットワークからリソースブロックを調達する請求項 9 ~ 11 のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項 13】

サービスの特定のリソースの要求の履歴の傾向および現在のリソースの利用傾向および要求に基づいて、見積もられるリソースの要求を決定する指令と、

種々のネットワークリソースからサービス構成要素の通信伝達部のためのリソースブロ

ックを入手する指令と、

仮想私設ネットワークリンク上の指示を通じて、サービス構成要素の媒体部分のリソースの配置を、通信伝達部のサービス構成要素により制御する指令と、

種々のネットワーククリソースからサービス構成要素の媒体部分に対応するリソースブロックを入手する指令と、ここで、前記リソースブロックは共用プールに統合され、サービス構成要素の通信伝達部が共通に利用可能である態様で提供可能なものであり、

一定のセッション時間、または取引時間の間、アプリケーションおよびサービスのために、リソースブロックを使用する指令と、

をコンピューターに実行させるためのコンピュータープログラム。

【請求項 1 4】

前記サービス構成要素は分散され、統一されていない請求項 1 3 に記載のコンピュータープログラム。

【請求項 1 5】

前記仮想私設ネットワークリンクは、標準化されたプロファイルを用いて、公開されているプロトコルを実行する請求項 1 3 または請求項 1 4 に記載のコンピュータープログラム。

【請求項 1 6】

公開されているアプリケーションおよびリソースプログラミングインターフェースを通じて、公用、私設、若しくは、公共ネットワークからリソースブロックを調達する請求項 1 3 ~ 1 5 のいずれか一項に記載のコンピュータープログラム。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図4】

